

岩崎式日本語と言語障害—吃音症、コンプレックス—

「今日、私が外を歩いているとき、強い風が吹いてきた」

◆岩崎式日本語の使用者

「今日、私の外で歩いているとき、強い風で吹いてきた」

「今日、私がそちゅ、そき、そぐ、そとを歩いているとき、強いかちよ、かぶ、かぜが吹いてきた」

「何の花が好きかと聞かれても、すぐには答えられないですよ」

◆岩崎式日本語の使用者と脳血管障害者

「何に花の好きかと聞かれても、すぐには答えられないですよ」

「今日は久々に母とAさんと外食して、電車で帰ってきました」

◆岩崎式日本語の使用者と脳血管障害者

「今日は久々に母、Aさん、外食、で、電車、帰ってきました」

【参考】「今日は久々に母とあの人とあれして、あれで帰ってきました」(アルツハイマー病)

【漢字仮名交じり文】

「私（能、抽化、未然、解離性障害）、今日、外（そと）（具及間、抽出、已然）歩いている（抽化、未然）とき、強い風（識具間、抽出、已然）吹いてき（心描）た。」

【仮名書き】

「ゐの、きょう、そとーてあるいているろとき、つよいかぜはてふいてきうた。」

【コンピューター】

「Ga(NO, km, DD)、今日、外 (GU-KYU, si) 歩いている km とき、強い風 (SHIKI-GU, si) 吹いてき b た。」

岩崎式日本語の使用者

- ・使用者の多くが精神症状・言語障害を抱える女性
- ・巫女などの和歌・古典関係者
- ・先天的に言語・学習・発達障害がある使用者の多くは男性